

消化器内視鏡検査・治療時の抗凝固薬・抗血小板薬の取り扱いについて

消化器内視鏡検査・治療の際、血液が固まりにくくなる薬、血液をサラサラにする薬(別表、抗凝固薬・抗血小板薬)を服用しておられますと、小さな組織を採取(生検)したり、ポリープなどを切除(ポリペクトミー、粘膜切除)したりする場合に、出血が止まりにくくなる可能性があります。

したがって、場合によっては、これらの薬を一時的に休薬したり、他の薬に変更する必要があります。ただし、可能性は低いですが、これらの薬の休薬や変更により、血栓塞栓症(血管がつまる病気)を発症する可能性があります。

これらの薬の休薬や変更が必要な場合に、休薬や変更が可能か否か、可能な場合に何日から休薬や変更を行うのかについて、前もって、処方されている医師とご相談下さい。

この用紙を、処方されている医師にご持参いただいて、下段にご記入いただいておりますようお願いいたします。ご持参いただくのが困難な場合は、FAXにてご記入、ご返送いただくか、電話にてお問い合わせのうえ、ご自身でご記入下さい。

検査・治療当日は、ご記入いただいたこの用紙と、念のため、服用されている薬の一覧表や手帳あるいは現物をご持参下さい。

なお、検査・治療後のこれらの薬の再開は、原則として、翌日からになります。

先生 侍史

いつもお世話になりまして、ありがとうございます。

このたび、_____様におかれましては、兵庫県立西宮病院にて、

上部消化管内視鏡 検査
大腸内視鏡 治療 を _____ 月 _____ 日 に予定しております。

抗凝固薬・抗血小板薬をご処方されていまして、対応する疾患名、薬剤名、所定の期間(別表)の休薬や変更が必要な場合に休薬や変更が可能か否か、休薬や変更が可能な場合はその開始日を下段にご記入いただいて、患者様にお返しいただけましたら幸いです。

なお、検査・治療後のこれらの薬の再開は、原則として、翌日からになります。

血栓塞栓症の高危険群と考えられる患者様につきましては、休薬により発症する可能性も否定できませんので、生検については、休薬いただかなくてもけっこうです。休薬や変更を行ったうえでの治療を要する結果であった場合には、あらためてご相談させていただきます。

お手数をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

* 可能でしたら、()を _____ 月 _____ 日 から、休薬・()に変更
()を _____ 月 _____ 日 から、休薬・()に変更
いただけましたら幸いです。

問い合わせ医 _____

抗凝固薬・抗血小板薬の処方 有・無

対応する疾患名 ()

薬剤名	商品名	一般名	休薬・変更の可否	休薬・変更開始日	変更薬
()	()	()	可・否	月 日 ~ ()	()
()	()	()	可・否	月 日 ~ ()	()

ご施設名 _____

ご芳名 _____

消化器内視鏡検査・治療時の抗凝固薬・抗血小板薬の取り扱い 2017年3月

血栓塞栓症高危険群の場合(抗凝固薬群、抗血小板薬併用群を含む)

	一般名	商品名	生検・ 出血低危険度内視鏡	出血高危険度内視鏡	
				単剤	併用時
抗凝固薬 (AC)	ワルファリンカリウム	ワーファリン	休薬なし(P.T-INR<3)	5日休薬	中止翌日から
	ダビカトランエチキシラート	アラキキサ	休薬なし	2日休薬	最終投与12h後から
	アピキサバン	エリクセス		2日休薬	最終投与12h後から
	リバーロキサバン	イグザレルト		1日休薬	最終投与24h後から
	エドキサバン	リクシアナ		1日休薬	最終投与24h後から
抗血小板薬	アスピリン(ASA)	バイアスピリン アスピリン バファリン タケルダ(合剤)	休薬なし	休薬なし	休薬なし or CLZ置換(3-5日間)
	アスピリン(ASA)+ クロピドグレル	コンブラピン(合剤)	休薬なし	—	ASA置換(5-7日間) or [ASA→CLZ]置換(計5-7日間) [(O-4日間)→(5-3日間)]
	チカグレロル (ASA+併用)	ブリリンタ	休薬なし	—	5日休薬
	チエノピリジン		休薬なし	ASA置換 or CLZ置換 (5-7日間)	ASA有: 5-7日休薬 ASA無: ASA置換 or CLZ置換 (5-7日間)
	プラスグレレル	エフィエント			
	クロピドグレル	プラビックス			
	塩酸チクロピジン	パナルジン			
	チエノピリジン以外		休薬なし	1日休薬	CLZ+AC: CLZ継続 他: 1日休薬
	イゴサベント酸エチル	エパテールS エパテール			
	ω-3脂肪酸エチル	ロドリカ			
	シロスタノール(CLZ)	ブレタニル			
	塩酸シラセブ	コメリアンコーワ			
	トラピツル	ロコルチール			
ジピリダモール	ペルサンチン ペルサンチンL アンキオール				
塩酸サルボグレラート	アンブラニダ				
ペラプロストナドリウム	ドルチー				
リマプロスト	フロサイリン				
アルファテクス	オパールモジ プロレナール				

血栓塞栓症低危険群の場合

	一般名	商品名	生検・ 出血低危険度内視鏡	出血高危険度 内視鏡
抗血小板薬	アスピリン(ASA)	バイアスピリン アスピリン バファリン タケルダ(合剤)	3-5日休薬	3-5日休薬
	チエノピリジン		5-7日休薬	5-7日休薬
	プラスグレレル	エフィエント		
	クロピドグレル	プラビックス		
	塩酸チクロピジン	パナルジン		
	チエノピリジン以外		休薬なし	1日休薬

出血危険度による内視鏡の分類

低危険度	バルーン内視鏡 マーキング(クリップ、高周波、点墨など) 消化管、 膵管、 胆管ステント留置術(切開を伴わない) 内視鏡的乳頭バルーン拡張術
高危険度	内視鏡的ポリープ切除術、 粘膜切除術、 粘膜下層剥離術 内視鏡的乳頭括約筋切開術、 乳頭切除術 超音波内視鏡下穿刺吸引術 経皮内視鏡的胃瘻造設術 内視鏡的食道・胃静脈瘤治療 内視鏡的消化管拡張術 内視鏡的粘膜焼灼術

血栓塞栓症高危険群

抗凝固薬関連	心原性脳塞栓症既往 弁膜症合併心房細動、 弁膜症非合併脳卒中高リスク心房細動 僧帽弁機械弁置換術後、 機械弁置換術後血栓塞栓症既往、 人工弁設置 抗リン脂質抗体症候群 深部静脈血栓症・肺塞栓症
抗血小板薬関連	冠動脈ステント留置後2か月、 冠動脈薬剤溶出性ステント留置後12か月 脳血行再建術(頸動脈内膜剥離術、ステント留置)後2か月 主幹動脈50%以上狭窄を伴う脳梗塞または一過性脳虚血発作 最近発症した虚血性脳卒中または一過性脳虚血発作 閉塞性動脈硬化症Fontaine 3度(安静時疼痛)以上 頸動脈エコー、頭頸部MRIで休薬の危険が高いと判断される所見を有する